

レタスベと病の発生と防除対策

病徴



葉の黄化
(葉裏には白いカビ)



苗床の被害
(葉脈で区切られる)



収穫後の被害

分生子柄



発生生態と防除

- 病原菌: *Bremia lactucae* Regel : 絶対寄生菌、培養できない
- 発育は5 ~ 25℃、10 ~ 15℃で最適(淡路農技)
- 孢子のう形成は15℃、湿度90%以上の条件下で最適(淡路農技)
- 卵孢子の形成はヘテロタリック(異株性)で交配型B1とB2がある。一部ホモタリック(同株性)もある。
- 海外では25のレースが報告されている

- ハウス、トンネルなどの換気を十分に行う
- 発病株は見つけしだい早めに抜き取り、処分する
- 罹(り)病株を本ばに定植しないよう苗を厳選する
- マルチ栽培をすると発生を軽減できる
- 抵抗性品種を利用する
- プロパモカルブ、アゾキシストロビンなどの殺菌剤の効果が高い